

おまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

福祉啓発標語

入選作品発表

最優秀賞受賞者ボラ研で表彰

今回は、53点の応募をいただきました。内訳は、小学校低学年の部3点、小学校高学年の部24点、中学校の部15点、高等学校の部9点、一般の部6点でした。各部門の最優秀賞の方にインタビューしました。

★小学校低学年の部

西小三年 荒井結花さん

思いやり

えがおがいっぱい 大町市

家で一生懸命考えました。怒っているより、笑っていたほうがいいなと思って、笑顔いっぱいの大町市になってほしいと思い作りました。

★小学校高学年の部

西小六年 倉科世奈さん

赤い羽根

地域福祉の支え役

学校のボランティア委員会で、赤い羽根共同募金運動を行ったことがきっかけです。募金活動をする前に、共同募金について知ろうと勉強しま

した。そして地域のために活用されていることがわかり、もっと赤い羽根のことを知ってほしいと思い作りました。



受賞者(左から)大塚さん、倉科さん、荒井さん、手塚さん

★中学校の部

美麻中二年 大塚歩夢さん

ボランティア

みんなのために夢づくり

今の自分には、ボランティアはあまり身近なものではありません。自分でも何かできることをやるのが人のためにもなり、そんな活動が皆でできればいいなと思い作りました。

★高等学校の部

大町北高二年 手塚京さん

あなたから

つなげていこう、こころの輪

国語表現の授業で標語に取り組んだ。みんないろいろな思いがあって生活していると思う。そんな思いが地域などつなげていけばいいなと思い作りました。

入選作品を紹介します。

小学校低学年の部

優秀賞 西小一年 赤羽この美さん

大町は

みんながあかるく、くらす町

優秀賞 北小二年 熊切悠真さん

こころゆきは

心をつなぐ あいことば

優秀賞 西小三年 縣輝星さん

支え合い

手をとり合える 大町市

優秀賞 西小三年 池上桃花さん

はじめよう

一人一人が 出来ること

佳作 北小二年 遠藤準也さん

あいさつは 人と人のきずなをつなぐことばです

佳作 北小二年 坂本夏雪さん

手をつなぎ

わらってくれる うれしいな

佳作 西小三年 大塚瑞生さん

助け合い

とっても大事 その心

佳作 西小三年 齋藤航輝さん

ぼくたちの

え顔でみんなが しあわせに

小学校高学年の部

佳作 西小三年 松村太樹さん

「ごめんね」と

言える勇気を 育てよう

優秀賞 西小五年 西山舞音さん

手をつなぎ

福祉の一步 助け合い

優秀賞 西小六年 伊藤愛唯さん

一人から

つながる笑顔 キズナの「わ」

優秀賞 西小六年 佐々木 宗さん

思いやり

地域に大事な恩返し

優秀賞 北小六年 郷津壮生さん

「大丈夫？」

その一言の あたたかさ

佳作 西小六年 宮田七星さん

おもいやり

みんなの心が バリアフリー

佳作 北小六年 窪田京華さん

助け合い

みんなの笑顔 見たいから

佳作 北小六年 松田琴音さん

募金して

みんなでみんなを支え合う

中学校の部

優秀賞 美麻中一年 大塚幸夢希さん

みんなの手

未来を守る 大事な手

佳作 美麻中三年 田中理子さん

あいさつの

声が広がる 地域愛

佳作 美麻中三年 中村綾佳さん

忘れないで 地域の絆を

だれかがいつもそばにいる

安心して活動するために ボランティア活動保険に 加入しましょう!!

ボランティア活動保険は、ボランティアがボランティア活動中の事故によりケガをした場合や、他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊したことにより損害賠償責任を負わされた場合に保険金が支払われます。また、ボランティア活動場所と自宅との往復途上の事故や熱中症、ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償されます。

- ・補償期間は、4月1日～3月31日
- ・26年度の年間保険料は…
Aプラン 300円、Bプラン 450円
(中途加入の場合も上記金額です)
- ・加入できる方は、大田市ボランティアセンターに登録された団体、個人です。
- ・登録されている団体
個人には、1人140円の保険料補助を行います。
- ・現在加入されている方は、3月31日で補償期間が切れますので早めの更新手続きをお勧めします。
- ・団体で加入されている方には、代表者に更新書類をお送りします。
- ・加入は1人1口です。
重複加入に注意してください。
- ・更新手続きは、3月～受付開始。
- ・中途加入は随時受け付けます。
- ・申し込み・問い合わせ
大田市ボランティアセンター TEL22-1501



新福祉車両「さわやか号」

2月1日(土)のボランティア交流研究集会の席上で、福祉車両愛称募集入選作品の発表と表彰が行われました。入選作品は、美麻の吉澤岑夫さんの「さわやか号」に決定しました。表彰状と記念品が贈られました。



新車両「さわやか号」です

高等学校の部

優秀賞 北高二年 栗林 唯さん
思いやり

一人一人も つなぐかぎ
優秀賞 北高二年 米原和江さん

住民が 支え合う町 大田市
優秀賞 北高三年 高山有梨さん

気持ちだけ
もらったおつり 募金箱

佳作 北高二年 小林奈央さん
困ってる 人を見かけて すぐ行動

佳作 北高二年 松倉美希さん
あいさつの

連鎖で増える みんなの笑顔
佳作 北高二年 望月那里亜さん

ありがとう
言葉でつながる 心の輪

佳作 北高三年 小田原 拓野さん
未来乗せ 若人押しゆく 車いす

一般の部

優秀賞 大町 竹村和幸さん
あたたかい

差し出すその手は 福祉の宝

入選作品は、大田市総合福祉センター2階廊下に掲示してありますので、ご来館の際ご覧ください。

ボランティア 交流研究集会

2月1日(土)サン・アルプス大町で、市内のボランティア団体や小地域福祉ネットワーク、自治会、民生児童委員等ボランティアに関心を持つ市民170人に参加いただき、「お互いさまのまちづくり」をテーマに、ボランティア交流研究集会を開催しました。始めに、雪がき支援員、堀六日町小地域福祉ネットワーク六寿会、SAMBAAの会の日頃の取り組みの様子を発表していただきました。次に、大町ギター・マンドリンの演奏で和んだ後、「今、求められるボランティア活動」と題して、KT福祉研究所代表松藤和生先生の講演がありました。講演の中で、ボランティアとは物・お金・時間など「自



雪がき支援員の発表

ら進んで提供する」こと。ボランティア活動で一番大事なものは、「社会性」と「先駆性」。時代の一步先行く活動で定年はない。元気である以上は続けるべきと話されました。活動発表と講演を通して、身近な課題を共に考え、地域で何か支援したいと感じるきっかけとなり、ボランティアの力で地域が成り立っていくとすれば、ボランティア活動の意義は大きいのではないだろうか。参加された方のアンケートから。自治会や各地域でボランティアが出来ないか考えてみたい。(60代男性)。ボランティアは先駆性。社会の隙間を手助けする。そしてその活動が制度になれば。(80代男性)との感想がありました。



五品に4チャレンジ!! お味は...

男性の料理教室

2月6日(木)大町公民館分室の栄養指導室で、6人の方に参加いただき料理教室を行いました。かつお節と昆布で本格的なだしを取り方を教わった後、地元の旬の食材を使った料理を教えていただきました。参加者は、レシピを片手に和気あいあいと挑戦していました。

募集+ 腹話術講習会

NPO法人腹話術友の会主催による「腹話術講習会」を開催します。腹話術は、誰でも1時間くらいで習得できます。腹筋を使い健康維持にもつながります。

4月26日(土) 13:30～15:30

大田市総合福祉センター 2階大会議室
参加費 無料 どなたでも受講できます。

申し込み・問い合わせ先

大田市ボランティアセンター TEL22-1501